

旅費の執行方針 ・ 配分調整(担当：◎佐藤・◎森)…合同提案

・ 運用に関する基本的考え方，方向性に関するとりくみ

① 旅費の配分・用途について

基本的に各校の旅費執行方針が基盤となるが、教職員事務センターの予算組みや細則などが年々変化する傾向にあるので、それに注意しつつ補足すべき事項について連携部会で協議し、連携会議にお知らせする。

② 執行状況調査・配分調整

例年行っている執行状況調査とそれに基づいての事務センターへの報告(過不足)を行う。費目によって調査報告時期が異なるため、全費目について毎回調査するのではなく、事務センターより調査依頼を受けてから、その費目についてのみ行うよう変更する。

各調査の結果を集約し、各学校で予算に過不足ある場合については市内で調整(小学校費・中学校費内)を行う。それ以上の場合については、事務センターへの要望も含め検討する。事務センターへの要望については、金額だけでなく「この用務で出張が必要なため、これだけ予算が不足する。」という具体的な事例を積み上げ、とりまとめて報告する。

よって、執行情況調査時に予算が不足すると報告する学校については、執行予定業務、予定月日、旅費所要予定額を報告していただく事とする。(報告様式例：別記)

③ 連携会議(連携部会)としての姿勢

旅費執行における問題点の把握とその整理に努めます。各学校それぞれの状況をできる限り調査し、問題点を拾い上げ、連携会議において課題として共有し、解決のための手段を考える。

ただし、学校独自の課題は連携会議の枠内で説明しきれない場合もあり、課題を共有することが難しいが、各校の多くが問題意識として抱いていて、かつ解決可能なものから着実に対処する。

別記

《生徒指導旅費》

学校名	年間配当額 (A)	月 日現在 執行済額 (B)	今後執行予定額 (C)	過不足額 (A-B-C)
富良野小学校				
扇山小学校				
東小学校				
烏沼小学校				
布札別小学校				
布部小学校				
麓郷小学校				
山部小学校				
樹海小学校				
小学校費合計				
—	—	—	—	—
富良野東中学校				
富良野西中学校				
布部中学校				
麓郷中学校				
山部中学校				
樹海中学校				
中学校合計				

【予算が不足する場合は、不足の要因となる旅行についてのみこちらに記載ください】

予定年月日	用務名	用務地	人数	旅費所要額